

## すべてのステークホルダーとの責任ある対話

オムロンは「経営のスタンス」の中で、「すべてのステークホルダーと責任ある対話を行い、強固な信頼関係を構築します」と宣言しています。ステークホルダーとの対話を通じた信頼関係は、オムロンの持続的な成長にとって欠かせない資産であり、ソーシャルニーズの創造をしていくために不可欠な要素です。私たちは、すべてのステークホルダーとの責任ある対話に取り組み、持続的な企業価値の向上と、事業を通じた社会的課題の解決に取り組んでいます。

ステークホルダー	主な取り組み	コミュニケーション手段	活動実績例
お客様	オムロングループは、事業を通じた社会的課題の解決を目指し、より良い商品・サービスを提供しています。	営業活動を通じたコミュニケーション	制御機器事業のオートメーションセンタ(ATC)36拠点を通じたお客様との共創。 2022年度実績:アプリケーション・エンジニア1740名体制を構築(2016年度比29.9%)。
		カスタマーサポート	制御機器事業:世界40カ国150拠点以上のサポートネットワークにより、お客様のグローバル競争力向上に貢献。 ヘルスケア事業:コロナ禍に伴い、体温計・血圧計の問い合わせや、webサイトの「よくあるご質問」へのアクセスが倍増。webサイトの導線や、回答内容の改善に注力。2022年度は中国において98.3%の満足度評価を取得。
		ユーザーモニタリング	商品の企画開発段階および発売後にお客様との接点を設け、モニター調査を実施し、商品の利用状況やお客様を取り巻く環境を正しく理解することで、より使いやすく、精度の高い商品を開発。
		展示会	「中国国際輸入博覧会2022(CIIE)」出展を通じたオムロンブランドの認知拡大。「オートメーションで社会的課題を解決するイノベーション企業」としてのメッセージを発信。
取引先	オムロングループは、グローバルに調達活動を行っており、仕入先様と共にサプライチェーン上のサステナビリティのレベルアップに取り組んでいます。	サステナビリティセルフチェック	仕入先様自身によるサステナブル調達ガイドラインのセルフチェックの実施と査定・監査の結果、サステナビリティリスクが特定された仕入先様への改善計画の立案要請。2022年度は、グローバルの仕入先様356社の遵守状況を確認し、77社に対し是正行動を実施。
		第三者基準での評価	RBA*の評価ツールを用いた自主チェックの実施。2022年度は、全社重要仕入先様69社で実施し、RBA Corporate Level SAQ評価でのLOWリスクレベルを100%達成。*RBA: Responsible Business Alliance(責任ある企業同盟)
		調達BCP	全仕入先様の新規部品を発生都度調査。部品の最新の生産地情報を漏れなく管理し、有事に、全部品が一か月以内に調達を再開できることを目標に、部品毎の調達リスク軽減を実施。
		環境負荷低減に寄与する「グリーン調達」	グリーン認定・更新の実施。2022年度はさらに62社を認定し、累計3188社が評価完了。有害化学物質を含まない材料を積極的に採用し、サプライチェーン上の環境負荷低減に寄与。
		責任ある紛争鉱物調達	業界標準規格(RMI)の紛争鉱物調査帳票(CMRT)を採用し、2022年度は、オムロングループが過去2年間に購入した部材を対象にグローバルの仕入先様281社の調査を実施。環境破壊・人権侵害に及ぼさない調達を推進。
社員	オムロングループは、社員の能力や情熱を解き放ち、思う存分に発揮できる企業づくりに取り組んでいます。	VOICE (グローバル社員エンゲージメント調査)	2022年度は、オムロングループ全社員20603人(生産ラインを除く)に対し調査実施。(調査は2年ごとに実施) 回答率91%/フリーコメント数38500件超。
		TOGAグローバル大会 (The OMRON Global Awards)	ゴールド賞・特別賞に輝いたチームが世界各地から本社がある京都に集い、企業理念の実践を通じたチャレンジを役員、社員に対して共有し、共感と共鳴の輪を広げるイベント。2022年度はリアルとオンラインのハイブリッドで開催。社内外から11000人以上が参加。
		経営幹部(会長・社長)との直接対話の場 「企業理念ミッションリーダイアログ」 「The KURUMAZA」	企業理念の実践を組織に根付かせるために社員との直接対話を実施。ミッションリーダイアログは2022年度に海外を含め8拠点で実施。リーダー層や若手社員を中心に、オンラインも含めて500名以上が参加。
		健康経営宣言「Boost5プロジェクト」	社員の健康を重要な経営基盤として捉え、健康状態の見える化・分析に基づいて、社内外のWEBサイトで情報を発信。
株主・投資家	オムロングループは、「透明性の高い経営の実現」を目指し、株主・投資家との双方向コミュニケーションに努めています。	決算説明会/ESG説明会/個別面談	決算説明会(4回)、ESG説明会(投資家・アナリスト、報道関係者、その他大学など185名参加)、機関投資家との面談(約600件)をオンラインなどで開催。従来同様の透明性の高いIR活動を実現。
		定時株主総会	オンライン配信を実施(2022年6月23日)。会場への来場者85名、ライブ配信視聴124名(株主に限定)。議決権行使率は高水準の88.6%。
		IR関連冊子の発行	統合レポート、株主通信などIR冊子の発行による積極的な情報開示を実施。さらに有価証券報告書は記載を充実させ(価値創造ストーリー、サステナビリティ目標・結果、リスク情報などを記載)、海外投資家からの要望も多い英語版も発行するなど、幅広い投資家層への情報開示を強化。

## 社外からの評価

グローバル

Member of  
Dow Jones  
Sustainability Indices

Powered by the S&amp;P Global CSA

OMRON Corporation  
Electronic Equipment, Instruments & ComponentsTop 5%  
S&P Global ESG Score 2022

83 / 100

As of February 7, 2023.  
Position and Score are industry specific and without exclusion  
screening criteria. Learn more at [spg.com/esg](https://www.spglobal.com/esg)

S&amp;P Global Sustainable 1

## 「DJSI-World」(セクター上位3%)6年連続選定

「DJSI World」構成銘柄に2017年から6年連続で選定されるとともにアジア・パシフィック部門の構成銘柄にも2010年から13年連続で選定。

※米S&amp;P ダウ・ジョーンズ・インデックス社が共同開発した株価指標。経済・環境・社会の3つの側面から世界各国の大手企業の持続可能性を評価するもの。

## 「S&amp;PグローバルESGスコア上位5%」を獲得

S&amp;Pグローバル社が発行する「サステナビリティ・イヤーブック2023」のランキングで、「S&amp;PグローバルESGスコア上位5%」を獲得。

このレポートは、企業の責任に関する詳細な分析を提供する世界で最も包括的な出版物の1つで、世界の大手企業のサステナビリティ・パフォーマンスを紹介するもの。2年連続の選定。

2022 MSCI ESG Leaders  
Indexes ConstituentTHE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND  
THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX  
NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT  
OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS  
AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF  
MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE  
TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

## MSCI ESG レーティング 最高評価「AAA」獲得

MSCI ESG レーティングは、MSCI ESGリサーチにより提供されるESG投資の世界的な評価指標。

企業のESGパフォーマンスを「AAA」から「CCC」まで7段階で格付され、ガバナンス強化の取り組みなどが評価され、最高評価の「AAA」を獲得。



## 「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価を獲得、「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」選定

CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価の『サプライヤー・エンゲージメント・リーダー』に初選定。

CDP「気候変動」と「水セキュリティ」の2分野においては、「Aリスト」に選定。ダブル「A」達成は初めて。

※CDPは、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体



FTSE4Good

## 「FTSE4Good Index Series」8年連続選定

FTSE4Good Index Seriesに8年連続の選定。



## 「ecovadis」最高位プラチナに格付け

EcoVadis社のサステナビリティ調査において、最高位となる「プラチナ」評価を獲得。

「プラチナ」は、対象企業の内、スコアが上位1%の企業を評価するための格付けで、2020年度に続き2度目の獲得。

## 社外からの評価 国内



### 「健康経営銘柄」5年連続選定

「経営理念・方針」、「組織体制」、「制度・施策実行」、「評価・改善」のすべての項目で高い評価を受け、5年連続で選定。



### 日本経済新聞社/SDGs経営大賞「社会価値賞」受賞

日本経済新聞社 SDGs経営大賞「社会価値賞」を受賞。2019年の「SDGs戦略・経済価値賞」に続き、2度目です。



### DX銘柄「DX注目企業2023」に選定

本銘柄の前身となる「攻めのIT経営銘柄2017」における「IT経営注目企業2017」に続く2度目の選定。



### 「Best Japan Brands 2022」において、43位にランクイン

ランクインは6年連続、算出されたブランド価値金額は前年比+6%の11.53億米ドル(約1,700億円)となりました。

## 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が採用する5つのESG国内株式指数に選定



### 「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」4年連続選定

※S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社(S&P)と東京証券取引所が共同で開発したESG指数(株価指数)の一つ。



### 「FTSE Blossom Japan Index」6年連続選定 /

### 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」初選定

オムロンは年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が採用するESG投資指数の「FTSE Blossom Japan Index」に6年連続で、そして、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」に選定されました。

2023 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

2023 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数(WIN)

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

### 「MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」 / 「MSCI 日本株・女性活躍指数」6年連続選定

## 「統合レポート2022」が、主要な3つのアワードにおいて選出



### 第2回「日経統合報告書アワード」グランプリ受賞

### 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)「優れた統合報告書」に5年連続選出

### 「WICIジャパン統合レポート・アワード2022」ゴールドアワード(優秀企業賞)を受賞

## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

オムロン株式会社および子会社  
2022年および2023年3月31日現在

百万円

資産	2021年度	2022年度	資産	2021年度	2022年度
流動資産：			投資その他の資産：		
現金および現金同等物	155,484	105,279	オペレーティング・リース 使用権資産	39,746	47,501
受取手形および売掛金	151,820	180,074	のれん	39,718	43,125
貸倒引当金	(798)	(869)	関連会社に対する投資 および貸付金	124,691	134,557
たな卸資産	141,935	173,926	投資有価証券	43,757	46,123
売却予定資産	363	2	施設借入保証金	7,815	8,094
その他の流動資産	34,101	28,480	前払年金費用	14,391	29,103
流動資産合計	482,905	486,892	繰延税金	18,116	23,513
			その他の資産	37,392	49,667
有形固定資産：			投資その他の資産合計		
土地	20,926	20,238		325,626	381,683
建物および構築物	130,863	136,492			
機械その他	174,184	183,578			
建設仮勘定	4,748	6,363			
小計	330,721	346,671			
減価償却累計額	(208,623)	(217,086)			
有形固定資産合計	122,098	129,585			
資産合計	930,629	998,160			

百万円

負債および純資産	2021年度	2022年度	負債および純資産	2021年度	2022年度
流動負債：			株主資本：		
支払手形および 買掛金・未払金	86,827	92,855	資本金	64,100	64,100
短期借入金	20,000	213	普通株式		
未払費用	48,365	50,246	授權株式数： 2021年度：487,000,000株		
未払税金	5,657	10,560	2022年度：487,000,000株		
短期オペレーティング・ リース負債	11,549	11,871	発行済株式数： 2021年度：206,244,872株		
その他の流動負債	39,274	44,275	2022年度：206,244,872株		
流動負債合計	211,672	210,020	資本剰余金	100,652	98,506
			利益準備金	24,503	24,729
繰延税金	2,177	2,052	その他の剰余金	517,566	571,807
退職給付引当金	8,194	9,348	その他の包括利益(損失) 累計額	13,013	39,947
長期オペレーティング・ リース負債	28,567	33,284	自己株式	(54,607)	(70,616)
その他の固定負債	12,048	12,229	2021年度：7,053,647株		
負債合計	262,658	266,933	2022年度：9,417,692株		
			株主資本合計	665,227	728,473
			非支配持分	2,744	2,754
			純資産合計	667,971	731,227
負債および純資産合計	930,629	998,160			

## 連結損益計算書

オムロン株式会社および子会社  
2021年、2022年および2023年3月31日終了時事業年度

	百万円		
	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	655,529	762,927	876,082
売上原価および費用：			
売上原価	357,178	416,100	482,199
販売費および一般管理費	192,687	213,234	243,015
試験研究開発費	43,184	44,277	50,182
その他費用（収益）－純額－	(2,609)	2,602	2,277
合計	590,440	676,213	777,673
法人税等、持分法投資損益控除前当期純利益	65,089	86,714	98,409
法人税等	15,093	23,046	24,943
持分法投資損益（利益）	6,098	1,624	(1,079)
継続事業からの当期純利益	43,898	62,044	74,545
非継続事業からの当期純利益	—	—	—
当期純利益	43,898	62,044	74,545
非支配持分帰属損益	591	644	684
当社株主に帰属する当期純利益	43,307	61,400	73,861

円

1株当たりデータ：

	円		
	2020年度	2021年度	2022年度
当社株主に帰属する当期純利益			
継続事業からの当社株主に帰属する当期純利益	214.72	305.65	372.19
非継続事業からの当社株主に帰属する当期純利益	—	—	—
基本的	214.72	305.65	372.19
希薄化後	—	—	—

## 連結包括損益計算書

オムロン株式会社および子会社  
2021年、2022年および2023年3月31日終了時事業年度

	百万円		
	2020年度	2021年度	2022年度
当期純利益	43,898	62,044	74,545
その他の包括利益（損失）－税効果考慮後：			
為替換算調整額：			
当期発生為替換算調整額	23,138	40,078	17,840
実現額の当期損益への組替修正額	310	2,029	(337)
当期純変動額	23,448	42,107	17,503
退職年金債務調整額：			
当期発生退職年金債務調整額	24,630	1,625	6,094
実現額の当期損益への組替修正額	3,053	3,012	2,610
当期純変動額	27,683	4,637	8,704
デリバティブ純損益：			
未実現利益（損失）当期発生額	(629)	(1,066)	(523)
実現額の当期損益への組替修正額	295	383	1,317
当期純変動額	(334)	(683)	794
その他の包括利益（損失）計	50,797	46,061	27,001
包括利益	94,695	108,105	101,546
非支配持分に帰属する包括利益	727	747	751
当社株主に帰属する包括利益	93,968	107,358	100,795

## 連結株主持分計算書

オムロン株式会社および子会社  
2021年、2022年および2023年3月31日終了時事業年度

百万円

	発行済株式数	資本金	資本剰余金	利益準備金	その他の 剰余金	その他の包括利益 (損失) 累計額	自己株式	株主資本	非支配持分	純資産合計
2020年3月31日現在残高	206,244,872	64,100	100,521	20,981	451,768	(83,606)	(23,349)	530,415	2,174	532,589
当期純利益					43,307			43,307	591	43,898
当社株主への配当金 (1株当たり84円)					(16,940)			(16,940)		(16,940)
非支配株主への配当金								—	(401)	(401)
非支配株主との資本取引等			0					0		0
株式に基づく報酬 *1			882					882		882
利益準備金繰入				1,950	(1,950)			—		—
その他の包括利益 (損失)						50,661		50,661	136	50,797
自己株式の取得およびその他							(1,467)	(1,467)		(1,467)
2021年3月31日現在残高	206,244,872	64,100	101,403	22,931	476,185	(32,945)	(24,816)	606,858	2,500	609,358
当期純利益					61,400			61,400	644	62,044
当社株主への配当金 (1株当たり92円)					(18,447)			(18,447)		(18,447)
非支配株主への配当金								—	(503)	(503)
株式に基づく報酬 *2			(751)				1,639	888		888
利益準備金繰入				1,572	(1,572)			—		—
その他の包括利益 (損失)						45,958		45,958	103	46,061
自己株式の取得およびその他							(31,430)	(31,430)		(31,430)
2022年3月31日現在残高	206,244,872	64,100	100,652	24,503	517,566	13,013	(54,607)	665,227	2,744	667,971
当期純利益					73,861			73,861	684	74,545
当社株主への配当金 (1株当たり98円)					(19,394)			(19,394)		(19,394)
非支配株主への配当金								—	(741)	(741)
株式に基づく報酬			(2,140)				4,003	1,863		1,863
利益準備金繰入				226	(226)			—		—
その他の包括利益 (損失)						26,934		26,934	67	27,001
自己株式の取得およびその他			(6)				(20,012)	(20,018)		(20,018)
2023年3月31日現在残高	206,244,872	64,100	98,506	24,729	571,807	39,947	(70,616)	728,473	2,754	731,227

\*1 株式に基づく報酬の見積り変更による資本剰余金の増加309百万円を含みます。 \*2 株式に基づく報酬の見積り変更による資本剰余金の増加19百万円を含みます。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

オムロン株式会社および子会社  
2021年、2022年および2023年3月31日終了時事業年度

百万円

	2020年度	2021年度	2022年度
営業活動によるキャッシュ・フロー：			
当期純利益	43,898	62,044	74,545
営業活動によるキャッシュ・フローと当期純利益の調整：			
減価償却費	22,756	23,367	26,587
株式報酬費用	—	864	1,863
固定資産除売却益（純額）	(325)	901	45
長期性資産の減損	1,976	410	1,768
のれんの減損	—	3,384	—
事業譲渡に関連する損失	—	1,116	(922)
投資有価証券評価損（純額）	(7,615)	(5,447)	2,099
投資有価証券売却損（純額）	—	—	—
退職給付引当金	(617)	(662)	(574)
繰延税金	1,164	4,632	(9,421)
持分法投資損益（利益）	6,098	1,624	(1,079)
事業売却益（純額）	—	—	—
資産・負債の増減：			
受取手形および売掛金の減少（増加）	3,893	(9,074)	(23,581)
たな卸資産の減少（増加）	5,425	(30,427)	(29,004)
その他の資産の増加	955	(3,178)	(2,331)
支払手形および買掛金・未払金の減少	6,237	13,293	4,667
未払税金の増加（減少）	833	1,749	4,758
未払費用およびその他流動負債の増加（減少）	5,301	2,316	5,179
その他（純額）	3,852	516	(1,143)
調整合計	49,933	5,384	(21,089)
営業活動によるキャッシュ・フロー	93,831	67,428	53,456

百万円

	2020年度	2021年度	2022年度
投資活動によるキャッシュ・フロー：			
投資有価証券の売却および償還による収入	751	921	84
投資有価証券の取得	(1,057)	(5,386)	(2,860)
資本的支出	(26,662)	(33,357)	(45,018)
施設借用保証金の減少（△増加）（純額）	(189)	(140)	(299)
有形固定資産の売却による収入	2,069	748	1,614
関連会社に対する投資の増加	7,850	(112,444)	(9,976)
事業売却（現金流出額との純額）	2,453	(505)	922
事業買収（現金取得額との純額）	—	—	—
その他（純額）	0	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	(14,785)	(150,163)	(55,533)
財務活動によるキャッシュ・フロー：			
短期債務の増加（減少）（純額）	(1,587)	20,000	(19,787)
親会社の支払配当金	(16,952)	(17,754)	(18,912)
非支配株主への支払配当金	(352)	(504)	(741)
自己株式の取得	(1,471)	(31,430)	(20,013)
自己株式の売却	—	0	772
その他（純額）	10	85	(76)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(20,352)	(29,603)	(58,757)
換算レート変動の影響	6,528	17,067	10,629
現金および現金同等物の増減額	65,222	(95,271)	(50,205)
期首現金および現金同等物残高	185,533	250,755	155,484
期末現金および現金同等物残高	250,755	155,484	105,279
継続事業に係る期末現金および現金同等物残高	250,755	155,484	105,279

## 11年間の主要財務データ

オムロン株式会社および子会社

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
<b>財務データ:</b>											
百万円											
<b>損益状況 (会計年度):</b>											
売上高	650,461	772,966	847,252	833,604	794,201	732,306	732,581	677,980	655,529	762,927	<b>876,082</b>
売上総利益	241,507	297,208	332,607	320,812	312,161	327,585	325,484	303,702	298,351	346,827	<b>393,883</b>
販売費および一般管理費 (試験研究開発費を除く)	152,676	181,225	198,103	205,735	193,093	201,777	208,895	202,954	192,687	213,234	<b>243,015</b>
試験研究開発費	43,488	47,928	47,913	52,790	50,539	48,622	49,335	45,988	43,184	44,277	<b>50,182</b>
営業利益	45,343	68,055	86,591	62,287	68,529	77,186	67,254	54,760	62,480	89,316	<b>100,686</b>
EBITDA (注1)	67,795	93,144	114,930	93,747	97,495	101,501	92,609	80,466	85,236	112,683	<b>127,273</b>
当社株主に帰属する当期純利益 (純損失)	30,203	46,185	62,170	47,290	45,987	63,159	54,323	74,895	43,307	61,400	<b>73,861</b>
<b>キャッシュ・フロー状況 (会計年度):</b>											
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,058	79,044	77,057	84,207	77,875	73,673	71,245	89,787	93,831	67,428	<b>53,456</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	(28,471)	(31,125)	(39,517)	(67,116)	(15,041)	(55,842)	(34,957)	28,639	(14,785)	(150,163)	<b>(55,533)</b>
フリー・キャッシュ・フロー (注2)	24,587	47,919	37,540	17,091	62,834	17,831	36,288	118,426	79,046	(82,735)	<b>(2,077)</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	(18,550)	(16,298)	(29,303)	(31,550)	(15,012)	(33,082)	(40,783)	(29,430)	(20,352)	(29,603)	<b>(58,757)</b>
<b>財政状態 (会計年度末):</b>											
総資産	573,637	654,704	711,011	683,325	697,701	744,952	749,878	758,124	820,379	930,629	<b>998,160</b>
現金および現金同等物	55,708	90,251	102,622	82,910	126,026	106,223	103,850	185,533	250,755	155,484	<b>105,279</b>
借入金残高	5,570	488	0	0	156	298	2,086	1,593	0	20,000	<b>213</b>
株主資本	366,962	430,509	489,769	444,718	469,029	505,530	504,212	530,415	606,858	665,227	<b>728,473</b>
<b>1株当たり情報:</b>											
当社株主に帰属する当期純利益 (純損失) (EPS) (円)	137.2	209.8	283.9	219.0	215.1	296.9	260.8	365.3	214.7	305.7	<b>372.2</b>
株主資本	1,667.0	1,956.1	2,254.4	2,080.0	2,193.7	2,400.4	2,455.2	2,626.6	3,009.2	3,339.6	<b>3,701.1</b>
現金配当額 (注3) (円)	37	53	71	68	68	76	84	84	84	92	<b>98</b>
配当性向	27.0%	25.3%	25.0%	31.1%	31.6%	25.6%	32.2%	23.0%	39.1%	30.1%	<b>26.3%</b>
株主資本配当率 (DOE)	2.4%	2.9%	3.4%	3.1%	3.2%	3.3%	3.5%	3.3%	3.0%	2.9%	<b>2.8%</b>
<b>その他財務データ:</b>											
売上総利益率	37.1%	38.5%	39.3%	38.5%	39.3%	44.7%	44.4%	44.8%	45.5%	45.5%	<b>45.0%</b>
営業利益率	7.0%	8.8%	10.2%	7.5%	8.6%	10.5%	9.2%	8.1%	9.5%	11.7%	<b>11.5%</b>
EBITDA マージン	10.4%	12.1%	13.6%	11.2%	12.2%	14.6%	12.6%	11.9%	13.0%	14.8%	<b>14.5%</b>
投下資本利益率 (ROIC)	8.6%	11.3%	13.4%	9.7%	10.3%	12.7%	10.6%	14.1%	7.8%	9.6%	<b>10.4%</b>
株主資本利益率 (ROE)	8.8%	11.6%	13.5%	10.1%	10.1%	13.0%	10.8%	14.5%	7.6%	9.7%	<b>10.6%</b>
株主資本比率	64.0%	65.8%	68.9%	65.1%	67.2%	67.9%	67.2%	70.0%	74.0%	71.5%	<b>73.0%</b>
総還元性向 (注4)	27.0%	25.3%	49.1%	62.7%	31.6%	48.2%	79.5%	47.7%	42.6%	79.0%	<b>53.4%</b>
設備投資	28,285	33,653	38,143	36,859	25,692	33,027	35,661	33,110	23,959	34,210	<b>45,074</b>
減価償却費	22,452	25,089	28,339	31,460	28,966	24,315	25,355	25,706	22,756	23,367	<b>26,587</b>
海外売上高比率	51.1%	55.4%	60.1%	60.3%	58.4%	57.3%	56.5%	54.1%	57.8%	62.0%	<b>62.7%</b>



## 11年間の主要非財務データ

オムロン株式会社および子会社

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
<b>非財務データ:</b>											
従業員数(人)	35,411	36,842	37,572	37,709	36,008	36,193	35,090	28,006	28,254	29,020	<b>28,034</b>
海外従業員比率	67.4%	69.1%	69.7%	69.3%	68.3%	68.1%	67.6%	62.2%	62.9%	65.0%	<b>64.4%</b>
海外重要ポジションに占める現地化比率 <sup>(注5)</sup>	36%	42%	42%	46%	49%	49%	62%	70%	75%	80%	<b>80%*</b>
女性管理職比率(グローバル) <sup>(注6)</sup>	—	—	—	—	—	—	12.7%	16.0%	16.4%	16.9%	<b>16.6%</b>
女性管理職比率(グループ国内) <sup>(注7)</sup>	1.5%	1.8%	1.9%	2.3%	3.3%	3.6%	5.2%	5.9%	6.7%	8.0%	<b>8.7%*</b>
障がい者雇用率(グローバル) <sup>(注8)</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0%	2.2%	<b>2.3%</b>
障がい者雇用率(グループ国内) <sup>(注9)</sup>	2.2%	2.4%	2.4%	2.4%	2.5%	2.6%	2.5%	2.8%	3.0%	3.1%	<b>3.1%*</b>
海外における障がい者雇用拠点数	—	—	—	—	—	—	—	—	25	27	<b>27</b>
特許保有件数(件) <sup>(注10)</sup>	6,448	6,635	7,194	7,686	8,224	8,774	9,782	10,087	11,037	12,061	<b>12,908</b>
環境貢献量(千t-CO <sub>2</sub> )	313	661	851	508	593	659	1,055	971	826	881	<b>938</b> <sup>☆</sup>
生産拠点のCO <sub>2</sub> 排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	203	215	221	202	202	204	193	135	106	109	<b>87</b>
カーボンゼロ国内拠点数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	<b>10</b>
売上高CO <sub>2</sub> 生産性(百万円/t-CO <sub>2</sub> )	3.21	3.60	3.83	4.12	3.94	4.22	4.47	5.02	6.16	7.02	<b>10.02*</b>
温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> ) <sup>(Scope1・2)</sup>	—	—	—	—	250	271	235	166	124	123	<b>92*</b>
ペーパー使用量削減率 <sup>(注11)</sup>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36%	<b>44%</b>

- 注： 1. EBITDA＝営業利益＋減価償却費  
 2. フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー  
 3. 1株当たり現金配当額はそれぞれの事業年度に対応するもので、事業年度末後に支払われる配当額を含んでいます。  
 4. 総還元性向＝(現金配当額＋自己株式の取得金額)／当社株主に帰属する当期純利益(純損失)(単元未満株の買取分は含まない)  
 5. 海外グループ会社各社の規模に応じて当社が定めた重要ポジション数に占める現地雇用人材の人数比率、ガバナンス目的の兼務ポジションおよび育成目的のポジションは対象外。  
 6. 海外は各年度3月31日時点。グローバルの女性管理職比率については2018年度以降より集計を開始しております。  
 7. 当社グループ国内において課長相当職以上に占める女性の人数比率。  
 8. 障がい者雇用率－グローバルは、法定雇用率がある国の適用対象拠点をスコープとし、各国法令の算出方法に基づき算出。  
 9. 各年度6月20日時点。「障がい者の雇用の促進等に関する法律」の雇用義務のある会社を対象。雇用率の算定は同法に基づく。  
 10. 特許保有件数は3月末日時点の件数です。  
 11. 2019年度を基準年度として算出した比率。

- ★印は、ビューローベリタスジャパン株式会社による保証を受けています。  
 ☆印は、ビューローベリタスジャパン株式会社によるレビューを受けています。  
 ★印は、KPMGあずさサステナビリティ株式会社による保証を受けています。

営業利益の表示について：当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式(段階利益を表示しない方式)を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費および一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。  
 会計方針の変更について：2018年度の米国会計基準変更に伴い、2016年度より連結損益計算書を組み替えて表示しています。  
 財務データの組み替えについて：オートモーティブエレクトロニクスコンポーネントビジネス(AEC、車載事業)の譲渡に伴い、同事業を非継続事業に分類したことから2017年度および2018年度の財務データの一部を組み替えて表示しています。

## 会社情報 2023年3月31日現在

創業	株主名簿管理人
1933年5月10日	三菱UFJ信託銀行株式会社
設立	米国預託証券(ADR)の預託
1948年5月19日	および名義書換代理人
資本金	JPモルガン・チェース銀行
64,100百万円	本社
連結従業員数	〒600-8530
28034名	京都市下京区塩小路通堀川東入
株式の状況	Tel 075-344-7000
発行済株式数 206,245千株	
単元株式数 100株	
株主数 31170名	
上場証券取引所	
東京	
フランクフルト(預託証券の形式による上場)	
証券コード	
6645	
決算日	
3月31日	
定時株主総会	
6月	

### 国内の主な関係子会社、生産・開発拠点、研究開発拠点、営業拠点

生産・開発拠点	関係子会社
草津事業所	オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社
岡山事業所	オムロン ヘルスケア株式会社
綾部事業所	オムロン リレーアンドデバイス株式会社
野洲事業所	オムロン スイッチアンドデバイス株式会社
研究開発拠点	オムロン アミューズメント株式会社
京阪奈イノベーションセンター	オムロン フィールドエンジニアリング株式会社
営業拠点	オムロン ソフトウェア株式会社
東京事業所	オムロン 阿蘇株式会社
大阪事業所	オムロン エキスパートリンク株式会社
名古屋事業所	
三島事業所	

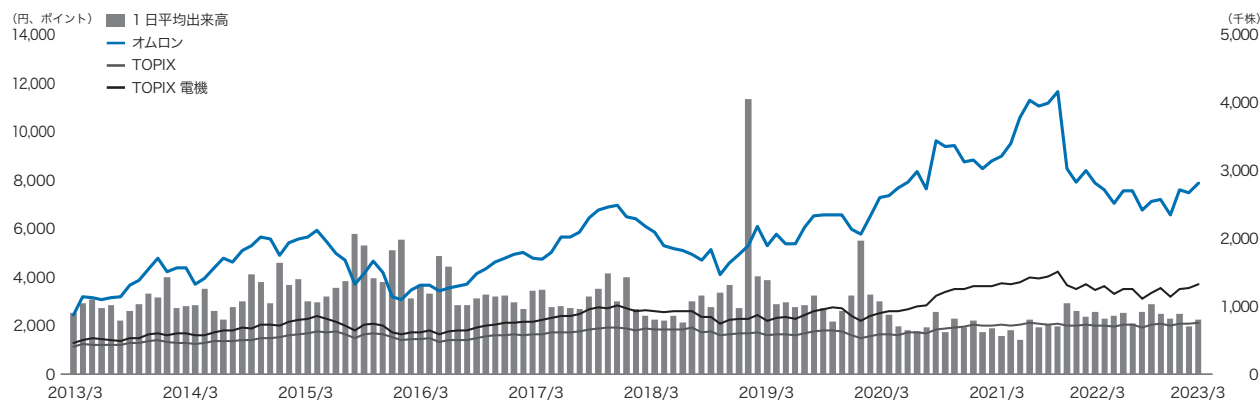
### 海外地域統括本社

米州本社	中国本社	韓国本社
オムロン マネジメント センター オブ アメリカ (アメリカ イリノイ州)	オムロン マネジメント センター オブ チャイナ (上海)	オムロン マネジメント センター オブ コリア (ソウル)
欧州本社	アジア パシフィック本社	
オムロン マネジメント センター オブ ヨーロッパ (オランダ 北ホラント州)	オムロン マネジメント センター オブ アジア パシフィック (シンガポール)	

# 株式情報

## 株価・出来高推移

\* オムロンの株価は、2013年7月15日以前は大阪証券取引所第一部、2013年7月16日以降は東京証券取引所第一部におけるものです。



## 株主総利回り(トータル・シェアホルダーズ・リターン)\*1

保有期間	3年	5年	10年
オムロン	141.8%	130.2%	367.8%
TOPIX	153.4%	131.8%	242.1%
TOPIX電機	177.6%	156.4%	354.5%

\*1 キャピタルゲインと配当を合わせた、株主にとっての総合投資利回りを表します。内閣府令で規定する計算式を参考に、2022年度末における各保有期間の利回りを計算しています。基準となる投資開始時の株価は、3年:2019年度末、5年:2017年度末、10年:2012年度末の終値を適用しています。

## 年間株価最高値・最安値・ボラティリティ\*2

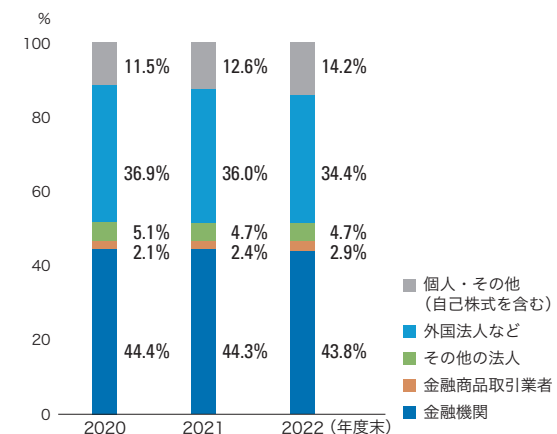
年度	最高値(円)	最安値(円)	ボラティリティ(%)
2022	8,164	6,237	29.1
2021	12,115	7,306	30.1
2020	10,040	5,330	28.8
2019	6,870	4,410	32.3
2018	6,300	3,740	34.5
2017	7,670	4,385	27.1
2016	5,120	3,045	32.5
2015	5,900	2,742	40.0
2014	5,800	3,365	30.9
2013	4,730	2,213	39.7

\*2 ボラティリティ: 価格変動リスク。数値は標準偏差。

## 配当・配当性向・株主資本配当率(DOE)

年度	配当(円)	配当性向(%)	株主資本配当率(DOE)(%)
2022	98	26.3	2.8
2021	92	30.1	2.9
2020	84	39.1	3.0
2019	84	23.0	3.3
2018	84	32.2	3.5
2017	76	25.6	3.3
2016	68	31.6	3.2
2015	68	31.1	3.1
2014	71	25.0	3.4
2013	53	25.3	2.9

## 所有者別株式数比率



## 所有株数別株主数比率(1単元:100株)

